

6	・円筆と方筆	・初唐の三大家のような楷書の姿だけではなく、様々な楷書の表現があることを理解し、様々な表現をするための筆使いを表現することができる。	○ ○ ○	ワークシート 提出作品		
	○臨書を考える	・臨書例を参考にしながら、鄭義下碑の書表現の特徴を見いだすことができる。 ・臨書とは何かを考えることができる。	○ ○ ○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○漢字の書の学習④ ・行書の基本用筆	・蘭亭序の歴史的背景を理解することができる。 ・行書の持つリズムや流れを意識して表現することができる。	○ ○ ○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○多様な蘭亭序を味わう	・2種類の蘭亭序の違いを具体的に指摘し、違いを見極めたうえで、根拠を明らかにしてどちらの蘭亭序が好きかを説明する。	○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○漢字の書の学習⑤ ・様々な行書の筆使いと書風	・祭姁稿の書かれた背景の理解を通して、線質や字形から作者の感情を感じ取ることができる。 ・蘭亭序とはことなる勢いのある行書の表現をすることができる。	○ ○ ○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
8	○漢字の書の学習⑥ ・漢字創作	・これまでの古典の学習を踏まえながら、自分なりの意図に応じた書表現を工夫しながらすることができる。	○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○漢字の書の学習⑦ ・篆書の用筆と運筆	・篆書の筆使いである、藏鋒、中鋒を修得し、篆書の特徴的な文字造形を表現できる。	○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○漢字の書の学習⑧ ・篆刻の学習 ■対面授業②（予定）	・篆刻の歴史や用途についての理解を深めることができる。 ・様々な篆刻作品の作風があることを理解できる。 ・自分なりの落款印を制作することができる。	○ ○ ○ ○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○漢字の書の学習⑨ ・隷書の筆使いと字形	・隷書の基本的な筆使いを表現することができる。 ・臨書例との違いを指摘することで、細かな字形の違いを意識して臨書できる。	○ ○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○古典を探究しよう	・張遷碑を多角的に観察し、特徴や良さを説明することができる。 ・多様な隷書を、根拠を明確にしながら分類することができる。	○ ○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○漢字の書の学習⑩ ・草書の用筆と運筆	・草書の特徴を理解するとともに、基本的な草書の筆使いができるようになる。	○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○仮名の書① ・仮名の基本的な筆使い	・仮名の基本的な筆使いをできるようにする。 ・文字の大小、行の流れ、墨の付け方に気をつけながら「蓬萊切」を書くことができる。	○ ○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○仮名の書② ・単体と連綿	・同じ和歌の作品を比較し、違いを指摘することで、書風の特徴を言葉にすることができる。 ・字幅の変化や墨の付け方に注意して書くことで、行の流れを表現できる。	○ ○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○仮名の書③ ・散らし書き	・色紙の表現を味わい、意図について考えることができる。 ・古典の散らし方を学び表現することができる。	○ ○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○仮名の書④ ・仮名の創作 ・自選の和歌	・仮名の基本的な用筆をいかして、自選の歌を表現することができる。 ・意図に応じた構成や表現に向けて工夫することができる。	○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	1 ○漢字仮名交じりの書の学習① ・楷書と古典の応用	・漢字仮名交じりの書の歴史等に触れ、どのような書なのかを理解するとともに、これまで学習した楷書の古典的用筆をいかした表現をすることができる。	○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○漢字仮名交じりの書の学習② ・筆脈と字形	・これまで学習してきた行書の古典を生かして書くことで筆脈に留意して書くことができる。 ・字形を工夫し表現を広げることができる。	○ ○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○漢字仮名交じりの書の表現	・作品制作の過程を理解し、古典の応用、構成の工夫といった視点を加味しながら自分なりの表現をすることができる。	○ ○	取組状況 ワークシート 提出作品		
	○一年間のまとめ	・自分のこれまでの書道の学習を振り返り、自分自身ができるようになったことを確認する。	○	取組状況 ワークシート 提出作品		

🔗最終評価（自己評価／実際評価）

① 知識・理解	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度